馬術部

ちょっと変わった馬好き集団

生物生産学部生物生産学科三年　三笠史登

私たち広島大学体育会馬術部は、一言でいうなら、「ちょっと変わった馬好き集団」といったところでしょうか。

まず、簡単に紹介しますと、部員構成は四年生から順に、三人、六人、十人、三人の計二十二名。馬は全部で八頭おり、うち二頭は療養のため千代田町にいます。練習は、西条農業高校の馬場において、平日は始業前、土、日は昼から行っており、年に六回ほどは試合もあります。

馬に乗るからには、当然馬の世話もするわけですが、世話するうちに、その馬の性格なりクセなりが見えてきます。ちょっとした凶暴な清薫（セイクン）、やたら食い意地の張る清成（キヨナリ）、どうもボーッとしている清武（キヨタケ）などさまざまです。

そういう人間臭さを持った彼らですから、自然と愛着も湧いてくるのです。ついには「わたし、清武（キヨタケ）が人間だったらぜったい結婚する」なんて子も現れてしまいました。

「馬の気持ちになって乗りなさい」、監督はこう言います。馬への感謝の心、馬を思いやる気持ち、これらを忘れてしまっては馬術はできない、ということでしょう。

今は低迷している我々ですが、移転という大仕事を終え、西条に腰を据えて本格的に上を目指すときが来た、と全員に気迫がみなぎっています。

（みかさ・ふみと）

第42回広島大学大学祭にて～馬の試乗会（於　西条キャンパス）

バスケットボール部

目指せ　インカレ出場

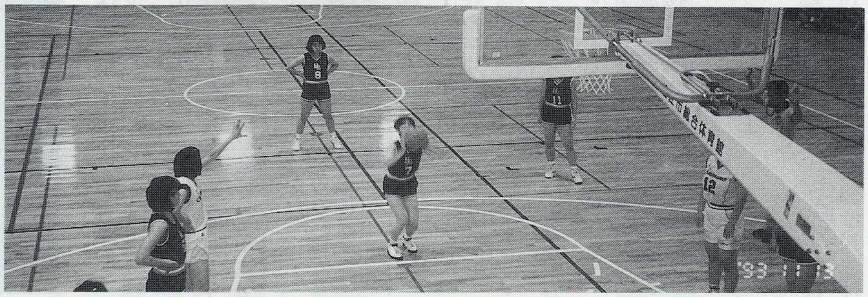
教育学部教科教育学科三年　中上あづさ

現在、我が広島大学体育会バスケットボール部は、男子二十四名、女子十七名、計四十一名で活動している。昨年度とは違って、今年度は新入生が男子十名、女子四名と安定した入部があったため、部員数を心配することなく活気に満ちた練習ができている。また、今までは教育学部に部員が偏る傾向にあったが、今年度はいろいろな学部にまたがっており、とても喜ばしいことと思われる。

男女ともに目標は、インカレに出場することである。そのためには、中国地区予選において、二位までに入らなければならない。しかし、年々、中国地区でも大学ごとの実力の差は縮まってきつつあり、激しい戦いとなっている。最近では、男子が平成四年度に、女子が昨年度にインカレに出場できたが、残念ながら今年度春季中国大会では、男女ともに結果が残せなかった。

勝負には４つのCが必要と言われる。Concentration（集中力）、Confidence（自信）、Condition（よい状態）、そしてCourage（勇気）。日々の練習の積み重ね、さらに、この４Cによってインカレへの道が開かれると信じている。そして我々は、四十一名の仲間とともに、秋のインカレ出場を賭けた勝負に向けて既にスタートを切っている。

（なかうえ・あづさ）



第44回中国五大学学生競技大会（冬季大会）にて（於　松江市総合体育館）